

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (甲信越)	◎	スナック（経営者）	来客数の動き	・来客数、客単価共に、かなりはっきりと改善している。観光客が増えているのと、在宅勤務をしていた企業の人たちの出勤日が増えたようで、ランチに来店する回数が増えている。
	◎	都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・マスク着用ルールが個人の判断に変わってからは、マスクを着用せずにホテルに来館する客がかなり増え、3か月前の1月と比べて、来館時にノーマスクの客は約2割増えている。また、宴会や懇親会の際にも、1月は完全にアクリル板をセットしての開催であったが、4月はそういったリクエストは1件もなかった。外国人宿泊客については、1月もかなり増えてはいたが、全体の比率で5%程度だったものが、4月は全宿泊数の10%と約2倍に増えている。
	◎	ゴルフ場（経営者）	単価の動き	・予約、売上とも順調で、プレー後の小パーティーも増えている。また、売店では家庭向けの食品等の売上が伸びたことから、客単価上昇につながっている。
	◎	その他サービス [葬祭業]（経営者）	お客様の様子	・今月も葬儀依頼が多い。他にも墓じまいや粉骨、また、犬や猫に関連する依頼が特に多くなっている。
	○	商店街（代表者）	販売量の動き	・当店は、学校用の体育衣料販売を行っているが、今年も前年同様の注文数があり、良かったと思っている。
	○	商店街（代表者）	お客様の様子	・年度始めや大型ゴールデンウィークを前に人出は悪くなっているものの、ここ数年では一番ムードが良い。
	○	一般小売店 [薬]（経営者）	お客様の様子	・当店は県庁所在地の中心にある商店街の、飲食店が密集している場所にあるが、新型コロナウイルス感染症の行動等の制限緩和からは、飲み屋や飲食店に多く人が来ている。
	○	百貨店（経理担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の行動制限等が緩和傾向にあり、来店する客が前年に比べて増加している。
	○	スーパー（経営者）	来客数の動き	・既存店の来客数は堅調である。単価上昇で買上点数が減少しているものの、客単価は維持できている。
	○	スーパー（経営者）	それ以外	・前年4月はイベントに伴う弁当等の売上が50万円あったが、今年はそれがなかったので数字的には減少しているものの、イベントの再開で当店も忙しくなっている。前年比で見ると、来客数は22%減少だが、売上は4%減少と、来客数に比べて売上は下がっていない。
	○	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・暖かくなり、外出する人が増えたようで、おむすびやサンドイッチ等、行楽の道中で飲食するための商材を買求める客が多くなっている。マスク着用ルールの見直しも、やや良くなっている要因ではないか。
	○	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・例年と比べて気温が上昇したため、客単価も増加傾向である。
	○	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車の供給遅延が解消され始め、新車販売台数が増加傾向にある。
	○	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・各種会合、接待、法事等の会食機会が、一層増えてきたため、やや良くなっている。
	○	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・当店の客の動きも増えてきているが、客の会話からも、歩き回っている様子がうかがえる。
	○	タクシー運転手	販売量の動き	・今年に入ってから3月までずっと、前年比115%前後で推移しているが、今月も115%くらいで終わりそうである。
	○	観光名所（職員）	来客数の動き	・アジア圏からのインバウンド客が好調で連日盛況だが、国内の一般個人客は少ない。
	□	一般小売店 [家電]（経営者）	お客様の様子	・全ての物が値上がりムードにあるなかで、消費者の購入意欲はみられない。ゴールデンウィークを控えて出費を控えているのか抱え込んでいるのか、必要な物以外の購入には至らない。
	□	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・売上は物価高により前年を上回っているものの、3か月前との比較で見ると横ばいである。

	□	コンビニ（店長）	販売量の動き	・季節的な要因もあると思うが、ようやく何とか前年並みになってきて、ある程度、客の動きが活発になってきた気がする。ただし、まだそれほど上向いてきてはいない。
	□	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・販売数量は少し増えてきているものの、材料や工賃等の値上げが続き、コスト高により減収である。
	□	家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数の減少が続いている。
	□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車納期は若干早まってきたが、人気車種の納期は相変わらず遅れている。中には新車の車両は届いているものの、オプションパーツの生産が間に合わない車種も出てきているため、売上に結び付いていない。また、車両部品の高騰で、事故で入庫した車両が全損になるパターンも多く、これも売上に結び付かない要因である。一方、車検、一般整備は目標をクリアしている。
	□	自動車備品販売店（従業員）	お客様の様子	・暖かい天候が続いており、タイヤの値上げも控えていることから、タイヤ販売は順調である。ただし、来客数がいまだに戻らない状況が続いている。
	□	スナック（経営者）	お客様の様子	・客の様子と回答しているが、選択肢の全部が当てはまるような気がする。コロナ禍から解放されたようだが、まだ地方には及んでいないので大変である。
	□	通信会社（社員）	販売量の動き	・問合せや契約数をみても、特に強調すべき材料がない。
	□	ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症対策の行動等の制限緩和により、社会活動が活発化してきている。そのため、ゴルフ場への来客数はここ2年と比べて落ちている。
	□	その他レジャー施設 [ボウリング場]（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況は減少傾向にあり、客の動きが活発になっている。4月に入って値上げを行ったが、客も理解を示してくれており、売上が増加している。
	▲	スーパー（店長）	単価の動き	・食品や雑貨の値上げが、物によっては100円単位で値上がりしている。
	▲	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・近隣に同業のコンビニが出店して、販売量の影響を受けている。相手の店舗は駐車場も広いので、やや厳しい状態が続いている。
	▲	その他専門店 [酒]（店長）	販売量の動き	・第1週から第3週くらいまでは、非常に良い動きだったが、直近の10日ほどはゴールデンウィークが始まるまでなのか、非常に厳しくなっている。ゴールデンウィークもちょっと分からないが、今はゴールデンウィーク前の買い控えということなのか、ここ2週間ほど非常に悪くなっている。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少による観光地等の人出回復の報道とは裏腹に、地元百貨店の閉鎖もあって、中心街には終日ほとんど人出がない。イベントも復活しているので、上昇のきっかけになればと思っている。
	×	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・全国旅行支援が延長されたが、新規予算が付かなかったため、ほとんどの人は全国旅行支援を利用できずに予約に結び付かなかった。また、新型コロナウイルス感染症の5類移行後の予約の動きがみられるものの、その反動で4月中は旅行を控えている傾向がある。
企業動向関連 (甲信越)	◎	—	—	—
	○	食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・5月8日より、新型コロナウイルス感染症も5類に分類移行されるため、人流も活発になって景気も回復してくる。
	○	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・特注品の受注は依然として少ないものの、店頭商材受注は多少の動きがある。
	○	新聞販売店 [広告]（総務担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルス感染症の5類移行が現実味を帯びているに伴い、イベントが開催されるため、折込広告の減少が鈍化してきている。また、県内で地域によっては小売店の新規出店があり、出稿枚数が増えているところもある。旅行業も海外旅行の取扱が増え、新型コロナウイルス感染症発生前との差はまだ大きいものの、前年比で大きく伸ばしている。

	□	食料品製造業 (営業統括)	受注量や販売量の動き	・一般消費者の購買意欲が減退しており、従来はケース単位で購入していた客が、数本単位での購入になっている。
	□	その他製造業 [宝石・貴金属] (経営者)	受注量や販売量の動き	・今月、大きな宝飾展示会があった。来場者は前回より大幅に増えたが、6割以上は海外からの来場で、また、国内の外国籍バイヤーも多く、日本人バイヤーは大幅に減少している。小売店の多くは、3月までは徐々に売上が回復していたが、4月になって来客が減少し、売上が落ちているということで、その影響か、来場はしても仕入れの意欲は余りない。真珠を扱う業者は、海外のバイヤーが積極的に買い付けをしているので、好調である。
	□	建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきているため、引き続き受注は順調である。
	□	金融業(経営企画担当)	取引先の様子	・海外からの観光客が増加してきているが、働き手側で人手不足になっている。原材料価格の高騰により取引先の仕入コストを圧迫している。
	▲	電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・部材調達に苦慮している。スムーズに入荷する物もあれば、時間の掛かる物もあり、生産開始に影響が出ている。
	▲	金融業(調査担当)	取引先の様子	・製造業の景況感が半導体の在庫調整の影響を受け、悪化し始めている。一方で、観光関連需要は持ち直してきており、方向感が見えにくい状況にあるため、消費の動きがポイントになる。
	×	*	*	*
雇用 関連 (甲信越)	◎	—	—	—
	○	職業安定所(職員)	求職者数の動き	・新型コロナウイルス感染症の5類移行後の経済活動の活発化に伴う、企業の採用意欲は旺盛であり、ウクライナ情勢や原材料高の影響を考慮しても、景気は緩やかに上向くものと考えられる。新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていることから、求職者も増加傾向を示しており、人の動きが増えることから同様の判断となる。
	□	人材派遣会社 (営業担当)	それ以外	・市内の大型書店等の閉店や、宅配業者の宅配時間変更等、身近な生活に変化が出始めている。今までが便利すぎたのか、原点に戻るときなのかもしれない。
	□	民間職業紹介機関(経営者)	求人数の動き	・業種によっては、現場作業者の不足感が高まっている。
	▲	職業安定所(職員)	求人数の動き	・業種により求人数の増減が分かれている。原材料費やエネルギー価格の高騰等の影響を受けていると思われる製造業では求人数が伸び悩んでいる。一方、観光や外食、派遣需要に対する求人は増加傾向にある。ただし、新規求人数が前年同月比でマイナスとなったのに対し、有効求人数は増加しており、ますます人手不足感が募っている感がある。
	×	—	—	—